

Cacoo Enterprise Google Apps / Drive Setup Guide

(株)ヌーラボ
2022年6月27日 第8版

更新履歴

版	更新日	更新内容
1	2013年05月17日	初版
2	2014年03月27日	第2版 - Google Appsの設定から分離
3	2015年05月28日	第3版 - Google AppsとGoogle Driveの設定を統合 新しいスクリーンショットに差し替え
4	2015年12月01日	第4版 - 新しいスクリーンショットに差し替え
5	2019年03月01日	第5版 - 新しいスクリーンショットに差し替え People APIの設定を追加
5	2020年02月27日	第6版 - 新しいスクリーンショットに差し替え
6	2021年03月10日	第7版 - 新しいスクリーンショットに差し替え
7	2022年06月27日	第8版 - 新しいスクリーンショットに差し替え

目次

[Google Apps連携、Google Drive連携のための設定手順](#)

[Google APIs ConsoleでのClient IDの作成](#)

[APIの有効化](#)

[Google Drive APIの設定](#)

[Cacoo EnterpriseでのApps連携、Drive連携の設定](#)

[Google Appsの設定](#)

[Google Driveの設定](#)

[ユーザのGoogle Drive紐付け設定](#)

Google Apps連携、Google Drive連携のための設定手順

このドキュメントはCacooエンタープライズのGoogle Appsログイン連携機能（以下、Apps連携）およびGoogle Drive連携機能（以下、Drive連携）を利用するために必要な設定手順をまとめたものです。

注意：設定を行うアカウントについて

Client IDを作成するGoogle Appsアカウントは、そのアカウント利用者の退職や部署異動に影響を受けないように、特定の個人のアカウントではなく専用のアカウントで行うことを推奨いたします。

注意：Cacooエンタープライズで利用するURLについて

Apps連携、Drive連携を利用する場合、Cacooエンタープライズは必ずドメインを含むホスト名（cacoo.example.comなど）で利用する必要があります。IPアドレスのURLではGoogle APIs Consoleへの登録でエラーとなります。

なお、そのホストドメイン名で外部ネットワークからアクセスできるようにする必要はありません。内部ネットワークのみでアクセス可能なホスト名で結構です。

注意：[CACOO_URL]について

設定値の値で[CACOO_URL]と表記している部分は、ご利用されるCacooエンタープライズのURLに置き換えて設定を行なってください。

[CACOO_URL]の例：

http://cacoo.example.com/

https://cacoo.example.com:8080/cacoo/

Google APIs ConsoleでのClient IDの作成

Webブラウザで設定用Google AppsアカウントでGoogleにログインし、以下のURLへアクセスしGoogle Developer Consoleを開いてください。

<https://console.developers.google.com/>

表示された画面で“プロジェクトを作成”をクリックしてください。（作成済みのプロジェクトがある場合は、プロジェクトの一覧が表示されています。）

ダッシュボード

❶ このページを表示するには、プロジェクトを選択してください。

[プロジェクトを作成](#)

プロジェクト名に“Cacoo Enterprise”（任意の名前）を入力し、必要に応じて「組織」と「場所」を指定してから[作成]をクリックします。利用規約に同意する必要がある場合は、その部分にチェックをつけます。

プロジェクト名 *

Cacoo Enterprise



プロジェクト ID: **cacoo-enterprise-347708**。後で変更することはできません。

[編集](#)

組織 *

組織なし



プロジェクトに関連付ける組織を選択します。この選択を後で変更することはできません。

場所 *

[参照](#)

親組織またはフォルダ

作成

キャンセル

プロジェクトの設定画面に遷移するので、左のメニューより[APIとサービス] - [OAuth同意画面]をクリックします。OAuth同意画面の設定では、「User Type」に“内部”を選択して[作成]をクリックします。

API	API とサービス	OAuth 同意画面
	有効な API とサービス	<p>アプリをどのように構成および登録するか（ターゲット ユーザーを含む）を選択します。プロジェクトに関連付けることができるアプリは 1 つだけです。</p> <p>User Type</p> <p><input checked="" type="radio"/> 内部 </p> <p>組織内のユーザーのみが使用できます。確認を受けるためにアプリを送信する必要はありません。 ユーザーの種類の詳細</p> <p><input type="radio"/> 外部 </p> <p>Google アカウントを持つすべてのテストユーザーが使用できます。アプリはテストモードで起動し、アプリを使用できるのは、テストユーザーのリストに追加されたユーザーに限られます。アプリを本番環境に移す準備ができたなら、アプリの確認が必要となる場合があります。 ユーザーの種類の詳細</p> <p>作成</p>
	ライブラリ	
	認証情報	
	OAuth 同意画面	
<input checked="" type="checkbox"/>	ドメインの確認	
	ページの使用に関する契約	

「アプリ登録の編集」画面に遷移したら、「アプリケーション名」に「Cacoo Enterprise」（任意の名前）を入力します。

「承認済みドメイン」にCacooのURLの最上位のドメイン名（example.comなど）を入力します。その他の情報は任意で設定します。設定が終わったら[保存して次へ]をクリックします。

API	API とサービス	アプリ登録の編集
-----	-----------	----------

有効な API とサービス

ライブラリ

認証情報

OAuth 同意画面

ドメインの確認

ページの使用に関する契約

1

OAuth 同意画面

2

スコープ

3

概要

アプリ情報

この情報は同意画面に表示されるため、デベロッパーのユーザー情報とデベロッパーへの問い合わせ方法をエンドユーザーが把握できます。

アプリ名 *

Cacoo Enterprise

同意を求めるアプリの名前

ユーザー サポートメール *

support@example.com

ユーザーが同意に関して問い合わせるために使用

アプリのロゴ

参照

ユーザーがアプリを認識できるように、同意画面に 1 MB 以下の画像をアップロードします。使用できる画像形式は、JPG、PNG、BMP です。最適な結果を得るには、ロゴを 120 x 120 ピクセルの正方形にすることをおすすめします。

アプリのドメイン

デベロッパーとユーザーを保護するために、Google では、OAuth を使用するアプリのみに認可ドメインの使用を許可しています。同意画面では、次の情報がユーザーに表示されます。

アプリケーションのホームページ

ホームページへのリンクをユーザーに提供します

[アプリケーション プライバシー ポリシー] リンク

一般公開のプライバシー ポリシーへのリンクをユーザーに提供します

[アプリケーション 利用規約] リンク

一般公開の利用規約へのリンクをユーザーに提供します

承認済みドメイン ?

同意画面または OAuth クライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで事前登録する必要があります。アプリの検証が必要な場合は、[Google Search Console](#) にアクセスして、ドメインが承認済みであるかどうかを確認してください。承認済みドメインの上限の[詳細](#)をご覧ください。

+ ドメインの追加

デベロッパーの連絡先情報

メールアドレス *

support@example.com

これらのメールアドレスは、プロジェクトの変更について Google からお知らせするために使用します。

保存して次へ

キャンセル

次のスコープの設定画面では、そのまま[保存して次へ]をクリックします。

API

API とサービス

ダッシュボード

ライブラリ

認証情報

OAuth 同意画面

ドメインの確認

ページの使用に関する契約

アプリ登録の編集

OAuth 同意画面

2 スコープ

概要

スコープとは、アプリのユーザーに許可を求める権限を表します。スコープを定めることで、プロジェクトからユーザーの Google アカウントにある特定の種類のプライベートなユーザーデータへのアクセスが可能になります。[詳細](#)

スコープを追加または削除

非機密のスコープ

API ↑

範囲

ユーザー向けの説明

表示する行がありません

機密性の高いスコープ

機密性の高いスコープとは、プライベートユーザーデータへのアクセスをリクエストするスコープです。

API ↑

範囲

ユーザー向けの説明

表示する行がありません

制限付きのスコープ

制限付きのスコープとは、機密性の高いユーザーデータへのアクセスをリクエストするスコープです。

API ↑

範囲

ユーザー向けの説明

表示する行がありません

保存して次へ

キャンセル

以上でOauth 同意画面の設定は完了です。

続いて、左のメニューより[APIとサービス] - [認証情報]をクリックします。認証情報の設定に遷移したら、上部メニューの[+ 認証情報を作成] - [OAuthクライアントID]をクリックします。

API とサービス

ダッシュボード

ライブラリ

認証情報

OAuth 同意画面

ドメインの確認

ページの使用に関する契約

認証情報

+ 認証情報を作成

削除

有効な API にアクセス

API キー

OAuth 2.0 クライアント ID

名前

作成日

種類

クライアント ID

すべてのサービスの使用状況 (過去 30 日)

名前

メール

名前

すべてのサービスの使用状況 (過去 30 日)

API キー

OAuth 2.0 クライアント ID

サービス アカウント

ウィザードで選択

サービス アカウント

名前

作成日

種類

クライアント ID

すべてのサービスの使用状況 (過去 30 日)

名前

メール

名前

すべてのサービスの使用状況 (過去 30 日)

OAuthクライアントIDの作成画面が表示されます。以下の内容で設定します。

アプリケーションの種類	「ウェブアプリケーション」を選択
承認済みの JavaScript 生成元	空白
承認済みのリダイレクト URI	[CACOO_URL]drive/ [CACOO_URL]drive/install [CACOO_URL]signin/google_oauth2_apps/callback の3行を入力

入力したら[作成]をクリックします。

API API とサービス

有効な API とサービス

ライブラリ

認証情報

OAuth 同意画面

ドメインの確認

ページの使用に関する契約

← OAuth クライアント ID の作成

クライアント ID は、Google の OAuth サーバーで個々のアプリを識別するために使用します。アプリが複数のプラットフォームで実行される場合、それぞれに独自のクライアント ID が必要になります。詳しくは、[OAuth 2.0 の設定](#)をご覧ください。OAuth クライアントの種類の[詳細](#)

アプリケーションの種類 *

ウェブ アプリケーション

名前 *

ウェブクライアント1

OAuth 2.0 クライアントの名前。この名前はコンソールでクライアントを識別するためにのみ使用され、エンドユーザーには表示されません。

i

下で追加する URI のドメインは、[OAuth 同意画面](#)に承認済みドメインとして自動で追加されます。

承認済みの JavaScript 生成元 ?

ブラウザからのリクエストに使用します

+ URI を追加

承認済みのリダイレクト URI ?

ウェブサーバーからのリクエストに使用します

URI 1 *

http://cacao.example.com/drive/

URI 2 *

http://cacao.example.com/drive/install

URI 3 *

http://cacao.example.com/signin/google_oauth2_apps/callback

+ URI を追加

注: 設定が有効になるまで 5 分から数時間かかることがあります

作成

キャンセル

OAuth 2.0 クライアントIDが作成されます。

表示されている「クライアントID」の文字列は、後の設定で入力するため控えておきます。

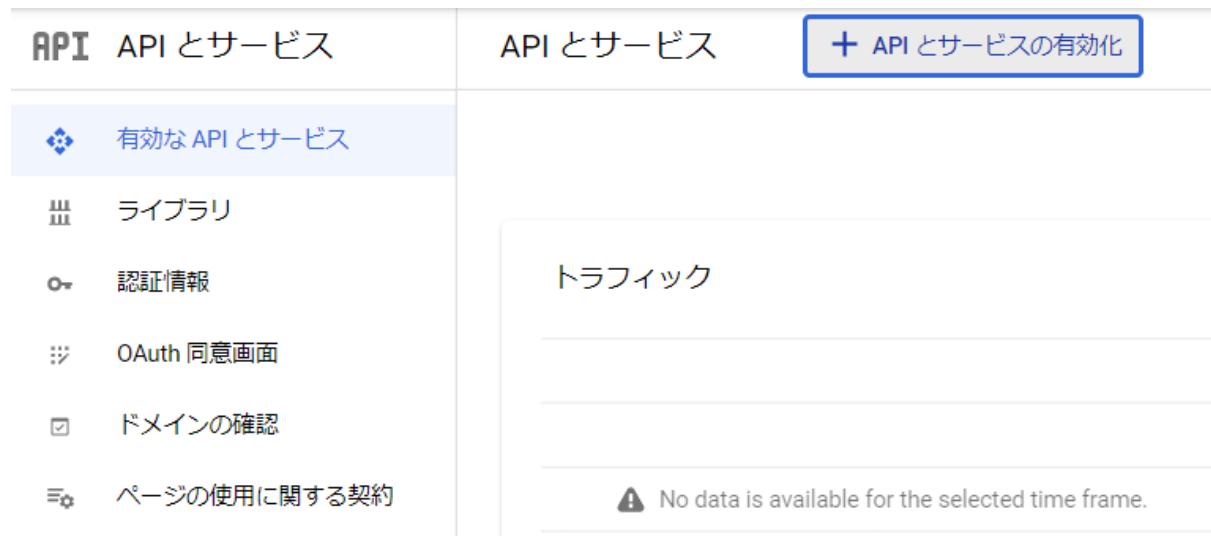
また、 をクリックして、JSONファイルをダウンロードしておきます。

OAuth 2.0 クライアント ID

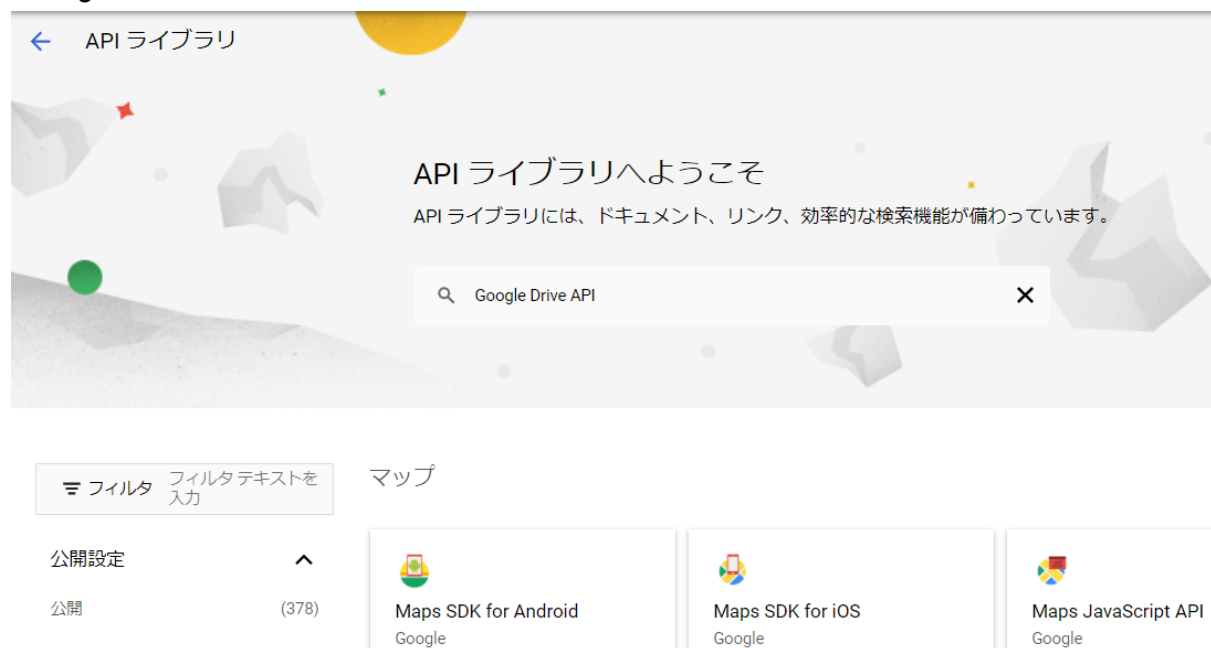
<input type="checkbox"/>	名前	作成日 ↓	種類	クライアント ID	すべてのサービスの使用状況 (過去 30 日) ?
<input type="checkbox"/>	ウェブクライアント1	2020/02/27	ウェブ アプリケーション	116746691460-a1gc...	0


APIの有効化

左のメニュー[有効なAPIとサービス]より[APIとサービスを有効化]をクリックします。



「Google Drive API」を検索してクリックします。



[有効にする]をクリックします。APIが有効になったら、 ボタンをクリックして戻ります。

← API ライブラリ



Google Drive API

Google

The Google Drive API allows clients to access resources from Google Drive

有効にする

この API を試す

タイプ
API とサービス

概要

The Google Drive API allows clients to access resources from Google Drive.

最終更新
2019/01/10 5:34

Google の概要

「Google Drive API」と同様に、「Google People API」も有効にします。2つのAPIが有効になっていることを「ダッシュボード」から確認します。

API API とサービス

API とサービス

+ API とサービスの有効化

有効な API とサービス

ライブラリ

認証情報

OAuth 同意画面

ドメインの確認

ページの使用する契約

トラフィック



エラー



フィルタ フィルタ

名前	↓ リクエスト	エラー (%)	レイテンシ、中央値 (ミリ秒)	レイテンシ、95% (ミリ秒)
Google Drive API				
People API				

Google Drive APIの設定

[有効なAPIとサービス]ページで、「Google Drive API」をクリックします。[ドライブUIの統合]タブで、以下の内容を入力します。

※日本語設定の場合、画面のラベルが日本語で表記されている可能性があります。その際は、対応する項目を読み替えて設定をお願いします。

Application Name	空欄
Short Description	空欄
Long Description	空欄
Icons	
Application icon	各サイズのアイコンをアップロードします
Document icon	各サイズのアイコンをアップロードします
Drive integration	
Authentication	チェックをつけます
Client ID	作成したクライアントIDの文字列を入力します
Additional Scopes	以下の4つを入力 https://www.googleapis.com/auth/userinfo.email https://www.googleapis.com/auth/userinfo.profile https://www.googleapis.com/auth/drive.file https://www.googleapis.com/auth/drive.install
Install URL	[CACOO_URL]drive/install
Open URL	[CACOO_URL]drive/
Default MIME Types	application/vnd.cacoo.diagram
Default File Extensions	空欄
Secondary MIME Types	空欄
Secondary File Extensions	空欄
Creating files	チェックをつけます
New URL	[CACOO_URL]drive/
Document Name	空欄
Importing	チェックをつけません
Mobile browser support	チェックをつけません

Multiple file support	チェックをつけません
Shared drives support	チェックをつけません

以上を入力したら[SUBMIT]をクリックします。

API API とサービス	← API / サービスの詳細 ■ API を無効にする
<div>有効な API とサービス</div> <div><div>ライブラリ</div><div>認証情報</div><div>OAuth 同意画面</div><div>ドメインの確認</div><div>ページの使用に関する契約</div></div>	<div>Drive UI Integration</div> <div>Configure how your App appears in Google Drive.</div> <div>Application Name (Optional)</div> <div>Short Description (Optional) ?</div> <div>Long Description (Optional) ?</div>
	<div>Drive Integration</div> <div>Configure how your App will integrate with Drive.</div> <div>Authentication</div> <div><input checked="" type="checkbox"/> Automatically show OAuth 2.0 consent screen when users open my application from Google Drive</div> <div>Client ID * 174444116966-4v65bv5scd7d48lk42om6knia3j3qp1n.apps.googleusercontent.c...</div> <div>Enter the Client ID for your application. This value must match the client ID of an OAuth 2.0 client ID configured in the API Credentials page for this project.</div> <div>Additional Scopes (Optional)</div> <div><div>https://www.googleapis.com/auth/userinfo.email ✕</div><div>https://www.googleapis.com/auth/userinfo.profile ✕</div><div>https://www.googleapis.com/auth/drive.file ✕</div><div>https://www.googleapis.com/auth/drive.install ✕</div></div> <div>Enter the Drive OAuth 2.0 scope URLs for any Google API that you want your application to access. This scope URL can be found in the documentation for the Google API you want to use. If your application does not require access to any Google APIs, leave this field blank.</div> <div>Install URL (Optional) http://cacao.example.com/drive/install ?</div> <div>This URL is used when you want to install this application in Google Drive.</div> <div>Open URL * http://cacao.example.com/drive/ ?</div> <div>Default MIME Types (Optional) application/vnd.cacao.diagram ✕ ?</div> <div>Default File Extensions (Optional) ?</div> <div>Secondary MIME Types (Optional) ?</div> <div>Secondary File Extensions (Optional) ?</div> <div>Creating files</div> <div><input checked="" type="checkbox"/> Allow users to create new documents using this application.</div> <div>New URL * http://cacao.example.com/drive/</div> <div>This URL is used when the user selects your application from the "New" menu in Google Drive.</div>

Cacoo EnterpriseでのApps連携、Drive連携の設定

管理者でCacoo Enterpriseにログインし、右上メニューの[管理]から管理画面に遷移し、[基本設定]を開きます。

Apps連携を有効にするには、「Google Appsアカウントでログインを許可」にチェックをしてから設定を保存します。

C

Cacoo

ユーザ情報

アイコン

パスワード

メールアドレス

アプリ連携

APIキー

開発者向け

インポート

組織管理者用

基本設定

メンバー管理

SAMLログイン設定

外部連携設定

管理用APIキー設定

サンプル管理

専用ステンシル管理

専用テンプレート管理

基本設定

通知メール

*通知メールの送信元アドレス

from@example.com

*通知メールの返信先アドレス

reply@example.com

ログイン

☐ メールアドレス、パスワードでログインを許可

☒ Google Appsアカウントでログインを許可

☐ SAMLアカウントでログインを許可

セキュリティ

☐ ユーザにメールアドレスの変更を許可する

☐ ユーザにパスワードの変更を許可する

☐ 「URLで図を公開」を無効にする ?

☐ 「誰でも編集可能」を無効にする ?

☐ Cacoo以外のツールから利用を無効にする ?

変更を保存

次に[外部連携設定]を開きます。

C

Cacoo

ユーザー情報
アイコン
パスワード
メールアドレス
アプリ連携
APIキー
開発者向け
インポート

組織管理専用
基本設定
メンバー管理
SAMLログイン設定
外部連携設定
管理用APIキー設定
サンプル管理
専用ステンシル管理
専用テンプレート管理

外部連携設定

Google Appsの設定

利用を許可するドメイン
","区切りで複数指定可。空ですべて許可。

☒ ログイン時にユーザアカウントを自動作成する
管理者が前もってアカウント作成する必要がなくなります。
まだAPI Accessファイルは登録されていません。
 client_secret-...tent.com.json

Google Driveの設定

☒ Google Drive連携を利用する

利用を許可するドメイン
","区切りで複数指定可。空ですべて許可。

☐ ログイン時にGoogle Driveと紐付ける
まだAPI Accessファイルは登録されていません。
 client_secret-...tent.com.json

Google Appsの設定

Apps連携を有効にするには、「Google Appsの設定」でAPI Accessファイルとして、登録したクライアントIDからダウンロードしたJSONファイルを指定します。

注意:「ログイン時にユーザアカウントを自動作成する」について

Google Appsで管理しているユーザーを、そのままCacooでも利用できるようにするときに設定します。個別のユーザーをCacooに登録しなくても、Google AppsからCacooにログインした時、自動的にCacooのアカウントを登録します。

Google Driveの設定

Drive連携を有効にするには、「Google Driveの設定」でAPI Accessファイルとして、登録したクライアントIDからダウンロードしたJSONファイルを指定します。

注意:「ログイン時にGoogle Driveと紐付ける」について

もしGoogle Appsアカウントでログインする全員にGoogle Driveを利用させたい場合は、「ログイン時にGoogle Driveを紐付ける」をチェックしてください。Google Appsアカウントでログインしたことのあるユーザはログイン時にGoogle Driveの紐付け画面が表示されるようになります。

以上の設定後、[変更を保存]をクリックして設定を完了します。

ユーザのGoogle Drive紐付け設定

管理者がGoogle Driveを利用する設定を行った後、各ユーザがGoogle Drive連携を利用するにはGoogle Driveの紐付け処理を行う必要があります。

注意:”ログイン時にGoogle Driveと紐付ける”について

管理者が外部連携設定で”ログイン時にGoogle Driveと紐付ける”にチェックしている場合、ユーザはログイン直後にGoogle Driveの紐付け画面が表示されますので、画面の指示に従って紐付け処理を完了させてください。

ログイン後、右上メニューの[設定] -> [ユーザー情報]を開きます。Google Driveが”紐付け済み”の場合は既にGoogle Drive連携の設定が行われています。”未設定”の場合、”紐付ける”をクリックして、画面の指示に従い紐付け処理を完了します。

C

user1@example.com

設定

ログアウト

ユーザー情報

名前

user1@example.com

言語


日本語

タイムゾーン

(GMT+09:00) Asia/Tokyo

サービス連携

Google Drive連携

 未設定(紐付ける)

変更を保存